

2016 易観 A10 ビッグデータアプリサミット 現地レポート

2016年10月27~28日 インターコンチネンタル北京北辰

クララオンライン中国

中国のIT調査会社・易観国際グループは、2016年10月27~28日に北京でビッグデータの祭典「易観 A10 ビッグデータアプリサミット」を開催した。8年目となる今年は「ビッグデータの勢いー未来と出会い・データは新しいエネルギー」をテーマに、ビッグデータに関する新しい発想と理念を共有するイベントとなった。

1. 盛大なサミットの始まり

開始30分前にもかかわらず、受付には長い行列が出来ていた。それを見た瞬間「このサミットは多くの人に期待されているんだ」と感じ、圧倒されてしまった。会場内はVIP席と参加者席に分けられていたが、どちらもすでに満席で立ち見の人も多かった。



会場内は満席の大盛況

2. 新戦略は MTP

今年のサミットは易観国際の于揚代表取締役兼CEO(最高経営責任者)の挨拶から始まった。于CEOは挨拶の中で「MTP戦略」という予言を含んだ理念を発表した。Mとは「Megatrends」で、近い未来に全ての企業は“デジタル企業”となって、デジタルユーザー資産が企業の大切な資産になり、AI(人工知能)が新しいインフラにとって代わるといいう大勢を指す。Tとは「Transform」で、データが新しいエネルギーになるという変革

-1-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

を指す。Pとは「Phreatobius dracunculus」で、デジタルユーザー資産を活用することで新しい知能的なインタラクティブインターフェイスが生まれることを指している。



易観国際の于揚 CEO が「MTP 戦略」を発表

インターネット業界は 2015 年後半から経済不振に悩まされており、「資本の厳冬」とも言われている。しかし「厳冬の下では必ず新しい命が育まれている」という視点から見れば、今回発表された「MTP 戦略」はまさにその新しい命なのだろう。さらに「厳冬」にもかかわらず、易観国際はシリーズ B ラウンドで 9,000 万元の増資が決まったと発表した。



B ラウンドの投資者たちが記念撮影

3. デジタル時代の第一歩

セッションでは、易観商品センターの朱江総経理が「ビッグデータを使えば効率よく、なおかつ簡単にユーザーのニーズを満たすことができる」として、“デジタル時代”の第一のポイントはビッグデータを商業化することだと説明した。具体的な商業化モデルの例として「ビッグデータ運業者→企業→特定範囲でのデータ分析→アプリケーション

ン→ユーザー」という流れを挙げ、ビッグデータ運営事業者と企業はあくまでもインタラクティブな関係であるべきとの考えを述べた。

また同社の郭焯 CTO(最高技術責任者)は、刻々と変わるこの情報の世界ではデータのリアルタイム分析が重要なカギを握るとし、最近話題の AI(人工知能)には、ビッグデータのリアルタイム分析処理が欠かせないと説明した。



郭 CTO のセッションの様子

4. ビッグデータを使ったユーザー獲得方法

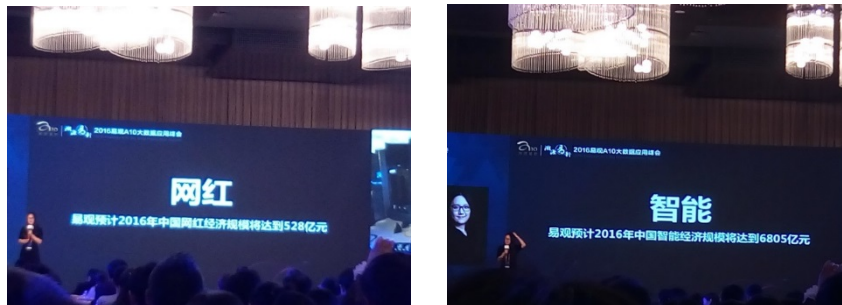
今回のサミットで頻繁に耳にした言葉は「ユーザーシーン解析」だ。これはユーザー群の行動を細分化して分析し、いつ、どこで、どんな人にどのような機能を与えればユーザーが存在感や心地良さを感じるかを知るためのものだ。自動車オーナーのためのO2Oプラットフォーム「微車」の創業者である徐磊 CEO(最高経営責任者)によれば、ユーザーシーンの発見には「時間」、「場所」、「人物」の3つの要素がキーになるという。「必要=買う」という時代ではなくなった今、ユーザーシーン解析でターゲットを絞り、提供する価値を最大化することが大切で、ユーザーがサービスに価値を感じれば、自然と企業の価値観を認め、強い信頼の気持ちを持つようになると話していた。



微車の徐 CEO のセッションの様子

5. 人と人のインタラクティブから、人と機械のインタラクティブへ

今、中国で一番のブームとなっている「網紅(ワンホン)」は、インターネット上で発言力と宣伝力のある有名人のことを指す。易観のアナリスト董旭総経理は、人が新たな“入口”の役割をし、“共有”が人と人とのインタラクティブの本質となっていると話した。2016年の網紅による経済規模は528億元に達する見込みだという。またAIはデジタル時代を切り開く重要なツールで、2017年のAIによる経済規模は6,805億元に達すると予測を明らかにした。



董旭総経理のセッションの様子

6. 世界が完全に智能化したら

易観 A10 サミットは、中国のビッグデータ分野において最も影響力のあるイベントだ。業界のたくさんの人と交流して、様々な立場からの意見を交換する場となっている。そこで私は「もし世界が完全に智能化したら我々はどうなるのか?」という疑問を持った。例えば、ある人が犯罪を犯したとする。しかしAIが分析した結果「この人は犯罪を犯していない」と判断したなら我々はどうすればよいのだろうか?やはりモラルと戦うことになるのだろうか?いつか易観からのよい回答を期待しよう。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2017年1月4日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776